



夏の風物詩で最高の思い出に

小絹中学校で「夏休み明けイベント」が開催

8月26日、夏休み明けでも生徒が元気に登校できるよう「夏休み明けイベント」(協力：保護者、小絹中学校PTA、小絹食堂の皆さんなど)が小絹中学校で開催されました。当日は、竹で作った水鉄砲を使った的当てゲームが行われたほか、かき氷が振る舞われ、生徒たちは笑顔でイベントを楽しみました。生徒たちは「楽しいイベントを企画していただき、とても嬉しいです！最高の思い出になりました！」と笑顔で話してくれました。

米の力でさらなる活躍を！

慶應義塾大学体育会が市長を表敬訪問

本市は「みらい型農業事業」の一環で、市内産米を積極的にPRして消費の拡大を図っており、4月からは慶應義塾大学体育会にも市内産米を提供しています。9月4日には同会の選手たちが市長を表敬訪問し、「つくばみらい市産のお米はとても美味しく、部員全員が非常に喜んでいます。これからはお米の力をエネルギーに変え、練習に励みます」と力強く話してくれました。



大会の経験を糧に目指せ最速スイマー

小絹小5年生、水泳全国大会に出場

8月下旬、「第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」が東京都で開催され、小絹小学校5年生の根本^{ねもと}怜さんが「10歳以下男子4×50mフリーリレー」に出場しました。惜しくも上位入賞は逃しましたが、根本さんは「残念ながら決勝に残ることはできませんでしたが、次の大会に向けて一生懸命練習して、今度はメダルが貰えるように頑張ります」と意気込みを話してくれました。

上位入賞も悔しさにじませ表情硬く

陽光台小1年生、空手大会で第3位

8月31日、栃木県で「北関東カラテトーナメント大会」が開催され、陽光台小学校1年生の吉田^{よしだ}翔和^あさん(岩崎空手みどりの・みらい平支部所属)が、「小学1年男女混合初級」で第3位に輝きました。吉田さんは「優勝できなくてとても悔しいです。次の大会では優勝できるように、もっと稽古を頑張って強くなりたいです」と振り返りました。

